



オワリサンショウウオ

Summer  
2022

H I G A S H I Y A M A

# ひがしやま 61

名古屋市東山動植物園情報誌

# オワリサンショウウオ

愛知県には7種の小型サンショウウオが生息しており、これまで名古屋市内にはそのうちのヤマトサンショウウオ1種のみが生息しているとされてきましたが、数年前に飼育員が名古屋市内や知多半島にいるヤマトサンショウウオが他の場所のヤマトサンショウウオと尾の色が違うので別の種類ではないかという疑問を抱き、大学と協力して遺伝子などを調べたところ、ヤマトサンショウウオとは異なる新種の「オワリサンショウウオ」ということが分かりました。

人々の暮らしの変化に伴い、サンショウウオがすめる環境がどんどん少なくなっていますが、新種が分類され、その種が絶滅してしまわないように生息環境を保全することは、日本全体の生物多様性を保つことにもつながります。オワリサンショウウオは、東山動植物園のある東山公園にもいることがわかってるので、東山動植物園では市民の方々と協働で公園内の環境保全に取り組んでいます。

なお、オワリサンショウウオは北園の自然動物館二階にある両生類コーナーでご覧いただけます。

(飼育第二係 江口 雄作)



## Contents

00 動物園トピックス  
「オワリサンショウウオ」

07 植物園長のエッセイ  
「初夏から見ごろを迎える「蓮」と「睡蓮」」

01 動物園長のエッセイ  
「尾張山椒魚」

08 植物管理人だより  
「光合成をしない植物」  
「植物と私のお引越し」

02 飼育レポート  
「飼育員は楽しい仕事」

09 東山植物園のレッドリスト植物Vol.22  
「イワチドリ」

04 飼育だより

10 植物園  
「夏の花だより」

06 動物病院日誌 Vol.60  
「子宮蓄膿症」

11 植物園トピックス  
「伊藤圭介資料がシンガポール植物園へ渡りました」

表紙／オワリサンショウウオ

東山動植物園の飼育員が高知大学などの研究機関と共に名古屋市内に生息する日本固有のサンショウウオの一種を新種「オワリサンショウウオ」として報告した論文が学術誌に掲載されました。  
(撮影／茶谷 公一・文／江口 雄作)

## 東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

### 申込方法

- |                     |  |
|---------------------|--|
| ① 動物園内で手続きをしていただく場合 | 動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。   |
| ② 郵便振込で手続きをしていただく場合 | 振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。<br>サポーター事務局／公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340) |

# 動物園長の エッセイ

## おわりさんしょううお 尾張山椒魚

『飼育の日』という記念日があるのはご存じですか。2009年(平成21年)に(公社)日本動物園水族館協会によって、カナ読みの“し・い・く”を数字の“4・1・9”と重ねる語呂合わせで毎年4月19日が記念日として制定されました。飼育員さんのお仕事はたいへん幅広いですが、一般には飼育動物にエサを与えるといった飼育環境のケアだけとされている方が多いかもしれません。今回はその中から「調査・研究」との関わりをご紹介したいと思います。

これまではコアラやツシマヤマネコのビデオ映像を飼育員の行動解析などによりペアリングのタイミングを図るなどして繁殖の成功につなげ、個体ごとの嗜好や採食量の調査から栄養管理も行うなど実績を積んできました。近年では大学との共同研究により東南アジアに生息するメダカの調査やゾウガメの系統調査、アジアゾウの夜間映像の解析による飼育環境改善(エンリッチメント)から動物福祉につなげようとする試みも始まっています。そして今年になって、愛知県西部(尾張)～知多半島に生息する小型のサンショウウオの一種が新種と判明し「オワリサンショウウオ」(尾張山椒魚)と命名されました。高知大学と東山動植物園の飼育員さんの共同研究により、従来は東海～近畿地方に生息するヤマトサンショウウオと同種とされていた本種が、尾の形態や遺伝子の違いなどから別種として論文に掲載されました。ちなみに愛知県東部(三河)にはミカワサンショウウオが生息しています。

このように飼育員さんの仕事に関連した調査・研究の分野は飼育・繁殖を主体としたものから最近では今回の事例のような生息地の保全に関連したものや動物福祉へと広がっています。ご紹介したオワリサンショウウオは自然動物館(北園)で飼育展示しています。特別天然記念物で世界最大の両生類として知られるオオサンショウウオに比べて小型のサンショウウオは知名度が低いとされます。この機会に「飼育の日」と併せてぜひ覚えて下さい。

なお季節柄、暑さが辛いと感じたり、屋外などで他の人との距離が保たれている場合は「適切にマスクをはずして」お楽しみ下さいね。

(動物園長 黒邊 雅実)





# 飼育員は楽しい仕事

## 1 とは言っても

とは言っても飼育員の仕事は動物の命を預かる仕事ですので、いろいろな心配ごとが常に頭に浮かんでいます。日中過ごしている環境は本当にその動物にとって安心でき、欲求を満ち、正しい心の動き方をする場なのだろうか？言葉で何も伝えてくれない動物だからこそ、飼育員はその動物の動き、様子など様々な角度からその動物について気を使うという点から言えば、飼育員は楽しいという言葉だけでは説明できないのかもしれませんが。

## 2 正解は何か？

それでも、『飼育員は楽しい部分がたくさんあるステキな仕事』として多くの方に知ってもらいたいと思います。動物の飼育は何が正しいのかわからないなかで、『正解は何か？』からスタートし、『その動物は野生ではどのような姿なのか？』さらには、『その野生の姿を再現するには？』『食べる、休む、遊ぶなど色々な行動を引き出すべき？』さらには『その行動をする際、心の動き方も正しく動かす』といったように少し考えただけでもやることは沢山できます。しかし、心を正しく動かすとはそもそも何が正しいのか難しいですね。

## 3 その動物にとって

例えば、動物園の運動場の一部分でしか安心できず、そこでしかゆっくり暮らせない動物がいたとしましょう。その動物を飼育員が関わることにより、運動場全体でゆっくり暮らせるようになるとすれば、その動物にとっての一日は全く違ったものになると思います。これも正しい心の動き方のちいさな一歩だと思います。

## 4 正しい心の動き方

では、どこに正しい心の動き方をしているのかどうか見極めるポイントはあるのでしょうか？それは僕も分かりません。しかし、自分ならこっちの生活の方がいいかな？など動物の気持ちになって考え続け、動物と関わっていくことが、その動物を正しい心の動かし方に導いていくと思います。

## 4 その瞬間をしゅんかん

そして、飼育員をしていると『前まではこの時間はこんなにリラックスしてなかったな』とか『生き生きと動く瞬間がでてきた』など『心が正しく動いた?』と思える瞬間がでてきます。そんな瞬間が『飼育員は楽しい仕事』と思える瞬間です。

その瞬間を多くの方と共有したいと思ってやっているのが、東山動植物園公式ブログ内での『マシマシチンパンジー』です。みなさんも『チンパンジーにとって正しい心の動きってなんだろう?』と考えながら動画を見てみてくださいね。

## 5 いろんなことを毎日マシマシしています

具体的なマシマシの例を一部紹介すると、チンパンジーの運動場に落ち葉を大量に投入し、30cmくらいの深さの場所も作りました。カラン、コエなどは落ち葉で遊んだり、他のチンパンジー達もエサを探す時間が増え、1日の生活リズムの中で行動のバリエーションが増えました。(マシマシチンパンジーNo.122を見てみてくださいね。)

さらに他にも、一日の生活リズムを観察し、暇そうひまにしている時間を探し、その時間にエサをまくことや、葛くずのツルをカミカミしてもらったり、丸太に穴を開けてムシイモつを詰めたものをほじくり出してもらったり、ペットボトルに果物スムージーを入れて与えたり、紙袋あたにエサを入れて与えたり(カラン、コエは紙袋をかぶったりして遊びます)、かんなくずをおもちゃとして入れたり、カラーボールにエサを詰めたリ、新しいエサを与えてみたり、ハンモックを20個追加したり、室内の空間に消防ホースを張りめぐらせたり、竹のブランコを作ったり、エサの大きさ、種類、置き方に変化をつけてみたり(朝運動場へ出るパターンは94パターン目をブログで紹介)、採血トレーニングをしてみたり、大作業を近くで行ったり(変化に動じなくなり、知らない人が来ても騒さわがなくなりました)、地下も使い、部屋の使い方も変えたり(毎朝暴れていたリュウが暴れることがほとんどなくなりました)、フィーダーを500個追加してみたり、いつも室内で木が食べられるようにしたり、木の種類も毎日いろいろな種類を与えたり、エサの内容を日々変化させたり、ドリンクホルダーを設置してみたり、運動場に植樹をしてみたり、チンパンジー達の心が正しく動くように日々いろいろなことをマシマシしています。



リキの毛 (before)



リキの毛 (after)



リキ毛引き



落ち葉



部屋 (before)



部屋 (after)

(飼育第二係1班 片岡 裕貴)



飼

育

## クレメンツの日光浴

東山動植物園のコアラたちは、気候が良く暖かい時期を見計らって屋外の放飼場に交代で日光浴に出ています。春と秋の暑くもなく寒くもない日に日光浴をさせることが多いのですが、日光浴といっても彼らが気に入ったユーカリの木に登り座って昼寝をするというスタイルです。しかし当園の最高齢コアラ「クレメンツ」はもう木に登れません。そこで飼育員の登場です。人間の子供を抱っこするように抱き、



ちょっと顔がみえます

安定するように椅子に座って日光浴を行っています。クレメンツも陽気に誘われて気持ちがいいのか寝てしまうことしばしば(飼育員もつられてzzzとなりそうにな



ります)。もし見かけたら起こさないように静かに見てあげてください。

飼育第一係1班 大津 尚史

## 生き物すべておなじ、この時期

6月になると温度も湿度も高くなり、ムシムシと暑い時期が続きますね。みなさんはもう衣替えはお済でしょうか?わたしも6月になると衣替えすることにしています。

さてクマ舎で暮らしているクマたちも私たちと同じでこの時期に衣替えをはじめています。人は服ですが、クマは毛です。体温調節をしていることは同じですが、クマたちの衣替えは人の服のように「一瞬で着替えておしまい」とはいかず、徐々に変



わっていきます。特にヒグマの衣替えがいちばん目を引きます。人は暑ければ海水浴や川遊びに行き暑さを楽しむところですが、クマたちもこの時期はプールにいっぱい入って水遊びをします。人と一緒にですね。温かな冬毛をまとったモコモコのクマ



たちも魅力的ですが、夏のクマたちもすっきりした姿がとても魅力的です。ぜひ会いに来てくださいね。プールに浸かる姿が「いっしょだ!」と思うはずですよ。

飼育第一係2班 福井 利一

## カンガルーorワラビー

ワラビーを見ては「カンガルー?」、カンガルーを見ては「カンガルー…だよな?」と来園者の会話を良く耳にします。

カンガルーは哺乳綱カンガルー目カンガルー科の構成種の総称です。オーストラリア、タスマニア、ニューギニアに生息していて、大型の種をカンガルー、中型の種をワラルー、小型の種をワラビーと呼んでいますがこの区別は分類学的なものではありません。食性は草や木の葉、根、果



アカカンガルー

実などを食べる草食ですがキノコや昆虫を食べる種もいます。メスはお腹に育児嚢と呼ばれる袋を持ちその中で子供を育てます。

東山動植物園ではアカカンガルー、ベネットアカクビワラビーの2種を飼育して



ベネットアカクビワラビー

います。

それぞれ、お母さんの袋から子供が外へ出て活発に動くようになりました。是非会いに来てください。

飼育第一係3係 野本 吏樹

## ユーカリと排水

今年も3月に新しいユーカリの植栽を行いました。この圃場は排水が悪く生育が良くなかったため、しっかりと圃場の改良を行いました。ユーカリはどちらかというと乾いた場所を好む植物なので、圃場の排水の良さは大事なポイントです。

ただ、植物であるため生育に水が必要です。またコアラの餌となる葉や新芽を多く作るには水は大切な要素になります。そのため一概によく乾くだけの場所では都合が悪いのです。



合が悪いのです。

ちょうど1年前に同じように排水の悪さを改良した圃場があります。そこは1面ブクタータの圃場にしました。現在では4m以上に伸びた株もあり、順調に生育しています。この圃場の改良は成功だったと思います。



ただ排水を良くした分、空梅雨の年の保水力にはやや心配が残ります。また水の流れを良くしてあるため、夏の局地的豪雨などで圃場の土が流れてしまわないかを注意して育てていこうと思います。

飼育第一係4班 白井 潔

## アホロートル育成マニュアルの作成

昨年両生類の担当になりすぐにアホロートルが産卵しましたが、しばらく放置していたら成体が卵を食卵したので、食卵を防ぐために従来の冷凍赤虫だけでなく配合飼料(ナマズ用のエサ)との併用給餌をしたところ、食卵を防止することができました。

そこで、採卵・ふ化・冷凍赤虫給餌までのマニュアルを作成しました。

- ①産卵からふ化までの期間は14日～15日  
(採卵時産卵した場所の水を使い、併用給餌する)
- ②食卵を防ぐため、発生を確認したら卵を別の場所に移す。
- ③ふ化から2日は何も与えない(食べないため)。
- ④ふ化後3日目よりシュリンプ(動物性プランクトン)を給餌。  
採食時腹部がオレンジ色になるのを確認。
- ⑤ふ化後13日目にシュリンプとイトミミズを併用。
- ⑥ふ化後14日目からイトミミズに完全移行。
- ⑦ふ化後25日目にイトミミズと冷凍赤虫を併用。
- ⑦ふ化後29日目から冷凍赤虫に完全移行。  
あくまで目安ですが、マニュアル完成です。



飼育第二係2班 藤 秀幸

## フクロテナガザルとのコミュニケーション

あの特徴的な鳴き声やダイナミックな動きは今までたくさん紹介されてきたと思うので、今回は少し違うお話ということで。

ケージと来園者の方とのやりとりをみていろいろなお話が伝わってきます。

自分には反応してくれない。

少し気にしてるかな？

網越し、ガラス越しで自分の近くにいる。

自分を追ってついて来る!

自分に向かって鳴いている!!

自分が来るとケージのテンションがすごく上がる!!!

と、まだまだいろいろありますが、そんな中でも見ている個人的にすごく良いなと思ったやりとりは、穏やかで、静かに、大きな動作があるわけではなく、ただお互い確実に意識はしている。上手く伝えられないのですが、ふわふわしたような、やさしい雰囲気を出している。そんなやりとりでした。

園内どこにいても聞こえる鳴き声が注目



されますが、時には、ケージとの穏やかで静かなコミュニケーションはいかがでしょうか？

飼育第二係3班 野村 勇治

子宮蓄膿症という病気をご存知ですか？蓄膿症と言えば、人では鼻の奥の方(副鼻腔)に膿がたまって鼻づまりを起こす、あの「ちくのう」を想像する方が多いと思いますが、今回は鼻でなく子宮に膿が蓄積したメスのライオンのお話です。

子宮蓄膿症は、犬や猫にしばしば見られる疾患で、子宮内膜が細菌感染をおこして子宮内に膿がたまる疾患です。多くの場合、出産経験のない個体に多く発症します。動物は、毎回の発情のあとに妊娠準備のために子宮内膜を一定期間増殖させますが、妊娠が成立しなければリセットされます。しかし犬猫の場合、妊娠しなかった時もまるで妊娠したかのような兆候を見せることがあります。これを偽妊娠といい、2か月ほど続くことがあります。それが終われば、増殖した子宮内膜が死滅してはがれ落ちます。出産をしなければこれが何年も繰り返され、子宮内にはがれ落ちた子宮内膜のカスがどんどん蓄積されていきます。これに運悪く細菌が感染することで子宮蓄膿症が起こります。2通りのタイプがあり、たまった膿が普段から持続的に排出される「開放性」のものと、膿が子宮外に排出されずどんどんたまっていく「閉塞性」がありますが、後者の「閉塞性」の方が圧倒的に危険な病型で、「水をガバガバ飲んで尿を大量にする」「嘔吐する」「白血球の増加」などの症状が特徴で、放置して症状が進めば尿毒症や子宮が破れて腹膜炎を起こして死に至ります。



ルナの子宮の超音波エコー画像。○はたまった膿

当園で飼育しているライオンのメスのルナ(14歳)が、数ヶ月前から「陰部から膿のようなものが出ている」との報告を受けていました。膿の量も少量で、「多飲多尿」や「嘔吐」といった危険な症状が見られなかった上、ルナは出産経験があるので、あまり深刻には考えずに経過を観察し

ていました。ところが、最近陰部から出てくる膿の量が増えてきたので、麻酔をかけてレントゲン検査と超音波エコーの検査を行ったところ、子宮内に膿の貯留を確認しました。症状から、「開放性の子宮蓄膿症」と診断されました。

ある程度膿はたまっていましたが、血液検査ではそれほど顕著な白血球の増加や、尿素窒素(BUN)の増加が見られなかったため、まず内科的な保存療法を試すことにしました。これは、繁殖を続けたいブリーダーの犬猫の場合に時々行われている方法なのですが、子宮を収縮させる薬を投与して子宮にたまった膿を出し、その後で抗生物質を長期間投与して感染を抑えて子宮を温存する方法です。

ルナは投与後にまとまった量の膿の排出が見られ、「このまま収まるのでは？」という期待があったのですが、抗生物質の味がお気に召さなかったようで、2週間も経たないうちに薬を吐き出すようになってしまいました。これでは最も肝心な「子宮内の悪い細菌を駆除する」ということができません。注射という選択肢もありますが、数ヶ月間毎日吹き矢を射つのはお互いかなりの負担になります。

相変わらず陰部からの膿の流出も続いており、いつ「閉塞性子宮蓄膿症」にならないとも言えないで、状態の良い今のうちに、根治手術を行う決断をしました。



全身麻酔をかけた手術台の上のルナ

5月9日に、卵巣-子宮全摘出の手術が行われました。手術は約1時間半ほどで無事終了しました。2週間の入院後の5月23日に、再び麻酔をかけて手術痕がきれいにくっついているのを確認した後に抜糸を行い、元気に退院してライオン舎にもどりました。(指導衛生係 玉村 太)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2027年5月31日、動物取扱責任者:黒邊 雅実



水生植物の蓮(ハス科)と睡蓮(スイレン科)は初夏から見ごろを迎えます。名前も形も似ているハスとスイレン。違いは何でしょうか。大まかには見た目が違います。ハスは、水面から高く伸びた先に葉を広げ、花も水面から茎を伸ばして高いところで咲かせます。一方、スイレンは、葉を水面に浮かせたように見せ、花も水面に浮かせるか少し立ち上げて咲かせます。葉の表面もハスは光沢が無く、水をはじくのに対し、スイレンは光沢があり、水をはじきません。

ところで、私たちが食しているレンコンは漢字で蓮根と書きます。そのため、レンコンはハスの根と思っている人も多いと思いますが、正しくはハスの茎(地下茎)です。レンコンを切ると大小いくつかの穴があいています。ではなぜ穴があいているのでしょうか。それは、植物も呼吸をしていて、レンコンが育つ泥の中は、土の中より酸素が不足する環境にあるので、葉で取り込んだ酸素を茎や根に送るためです。この穴は空気の通り道で地上の茎(葉柄)を通して外の空気につながっています。ちなみに葉柄も輪切りにするとレンコンと同じように穴が開いています。

続いてパラグアイオニバスについてご紹介します。パラグアイオニバスは、スイレン科オオオニバス属に属する水生植物です。アルゼンチン、パラグアイ、ブラジルなどの南米の亜熱帯域に分布しています。最大の特徴は、直径が1m以上になる「円形の大きな葉」です。巨大な葉は、裏側にある強固な葉脈に支えられ、葉の裏側や茎には、魚などから身を守るための鋭いトゲが無数に生えています。葉の縁は高さ15~20cmに立ち上がります。花は夜咲きで、1つの花は2日間咲きます。1日目の夜は、白色の花を咲かせ、甘い香りを漂わせます。2日目の夜に再び開花する時は花色がピンク色に変わり、咲き終わったら水中に沈み成熟します。東山植物園には、昭和25年1月、名古屋ロータリークラブの皆様(じんりよく)の尽力により、アメリカ合衆国のミズーリ植物園から種子が贈られ、その年の8月30日初めて開花しました。以来、毎年種子を採取して栽培、展示を続けてきましたが、温室前館の保存修理工事が始まる平成26年から栽培を中断していました。昨年の温室前館と洋風庭園のリニューアルオープンにあわせ、同年1月、名古屋千種ロータリークラブの皆様のご厚意により再びミズーリ植物園から入手したパラグアイオニバスの種子をご寄附いただき、8年振りにその姿を觀賞していただくことが出来ました。洋風庭園の鏡池には熱帯スイレンの他に温帯スイレンも展示しています。ご来園の折には、温室を背景に是非ご觀賞ください。

(植物園長 岡本 誠)





# 植物管理人だより

## 光合成をしない植物

「どんな植物でも“光合成”をする!」<sup>みな</sup>というのは皆さんの常識?かもしれませんが、“光合成”をしない植物が植物園内には生息しています。

令和元(2019)年に湿地園で発見した“ホンゴウソウ *Sciaphila nana* Blume(ホンゴウソウ科)”や“ヒナノシャクジョウ *Burmattia championii* Thwaites(ヒナノシャクジョウ科)”が、まさにこれです。

光合成とは一般的に葉の中で起きている化学反応です。根から吸収した水分と空気中から吸収した二酸化炭素で、太陽の光エネルギーを使って糖分などの栄養分と酸素を作ります。では、“光合成”をしない



ホンゴウソウ



ヒナノシャクジョウ



ナンバンギセル

い植物はどうやって必要なエネルギーを得ているのでしょうか?

“ホンゴウソウ”や“ヒナノシャクジョウ”は菌と共生関係にあります。菌から必要なエネルギーをもらい共に生きているのです。ですからいくら肥料をあげても、いくら光や水を与えても、発芽も生育もしません。このように菌と共生している植物を菌従属栄養植物といえます。

“ナンバンギセル *Aeginetia indica* L.(ハマウツボ科)”という植物がありますが、こちらも光合成はしません。ですが菌と共

生しているわけでもありません。“ナンバンギセル”はイネ科植物に寄生し、そこから必要なエネルギーを得ている寄生植物です。

植物は不思議なことがたくさんあります。生きるためには持っていた“光合成”の仕組みを捨ててしまうこともあります。動かない植物が生きていくための姿にいつも感動させられます。皆さんも植物の不思議を一緒に感じてみてください。

緑地造園係 市野 実

## 植物と私の お引越し

「温室前館」リニューアルオープンから2年目の夏がまもなく訪れます!

温室前館は今年で85年を迎え、開園当初から居る植物たちは今も太陽に照らされて元気よく生きています。今回は普段、目に見えない植物管理人のお話です。

2019年4月、3月までバラ園担当だった私は一度も担当したことがない温室の担当になり、開園当初から生き続ける高樹齢植物たちは失くしたら二度と手に入らない植物園の生きた宝物であり85年というスケールの大きさの前に思わず武者震い。

2020年10月下旬、リニューアルオープンの約半年前。

復元工事を終えた温室内に植物たち全員

の大移動。復元した温室は重要文化財のためクレーンを使って天井から入れることは出来ず、唯一である人と同じ出入口を使うしかないという前代未聞のお引越しです。

お引越しは、2013年の復元工事開始のため1度目。そして約7年後の今回で2度目。植物にとっては短期間に2度の移動は大ダメージを負う可能性が高く、お引越し本番だけでなく担当になってからは1年半、植物の体調を整えるのももちろん小さな出入口に対応するため植物のサイズを小さくカットしたとしても耐えられるように調整。

「気温」「湿度」「水管理」を基本に、病害虫を根付かせないため週一回、全ての植物の葉の裏にも水をかけ病害虫を洗い流します。

そして、お引越し本番。今回のお引越しで一貫した方針「植物の方角」です。

移動前も移動後も「南向きの面は南向きに」「北向きの面は北向きに」を守って環境の変化を極力与えず、高樹齢の植物たちの順



2020年10月(中央ヤシ室)

応の負担を減らします。

お引越しが終わってからは植物管理人の本番です。移植後に元気がない植物も現れましたが、元気がないバラに対して空気の流れて回復させた経験から、温室であっても毎日空気の入れ替えをすることでみるみる元気になるなど日々、経験と実践の繰り返し。

まもなくお引越しから2年目の夏。85年前よりもきっと暑くなるでしょう。

この夏も何事もなく無事に乗り越えられるように植物管理人は今日もヘルメットを被り現場に立ちます。

指導園芸係 熊崎 貴祥

レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が刊行している、世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリスト。各国の政府機関や地方自治体等で独自に作成している同様のリストもレッドリストと呼ばれる。日本の環境省レッドリスト2020において、1,790種(維管束植物)が絶滅の恐れのある種として掲載。

# イワチドリ

分類：ラン科

学名：*Hemipilia keiskei* (Finet) Y. Tang, H. Peng & T. Yukawa

分布：本州(中部地方・近畿地方)・四国・伊豆諸島



**EN**  
2020環境省  
レッドリスト

絶滅 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

**イ** ワチドリは、日本の本州中部から四国、伊豆諸島の山中の谷間の岩上に生える日本固有の小型のランです。高さは5~15センチほど、細い茎の下部に、鞘状の葉が1枚、茎を抱くように着きます。茎の先に淡紫から白色の数個の花が咲き、花の形を飛ぶ鳥に見立てて、チドリ(千鳥)の名があるとされています。

**自** 生している姿を見ることは非常に難しくなっており、環境省のレッドリストでは、絶滅危惧IB類(EN)に指定されています。個体差が大きく花の色形が変化に富み、また鉢植えでよく育つので、選抜によって園芸的にいろいろな花色のものを見ることができます。

**イ** ワチドリの以前の学名は、*Amitostiga keiskei* (Maxim.ex Franch.et Sav.) Schltr.で、最近の研究により属は変わりましたが、種小名のkeiskeiがあることで、名古屋が生んだ日本初の理学博士「伊藤圭介」に献名されたことがわかります。植物園では、伊藤圭介にちなんだ植物ということで、植物会館前に令和3年春に新しくできた「伊藤圭介の庭」に展示され、令和4年5月上旬に淡桃色の可憐な花を見ることができました。

(植物園 出原 裕子)

## 夏のおすすめ植物

広い植物園の敷地を夏場に歩くのは、ちょっと大変かもしれませんが、夏に楽しめる植物を見つけてみてください。

今号では、湿地園で見ることのできる夏の植物をご紹介します。湿地園は、1992年に、もともと湧水のあった斜面を利用して造られました。

### 1. イソノキ

*Frangula crenata*

(Siebold et Zucc.) Miq. クロウメモドキ科

蕾は楕円形で先が尖り、咲くと直径5ミリほどの小さな黄緑色の花です。花は少し開くだけです。見えている部分は主に萼で、花弁は中に隠れて少し顔をのぞかせる程度です。一斉ではなくじっくりと咲いていきます。



### 2. サギソウ

*Pecteilis radiata* (Thunb.) Raf. ラン科

湿地に咲く野生ラン。3cmほどの花はサギが羽を広げているようです。唇弁と呼ばれる部分の左右の側裂片が鷺の翼に、中央の裂片が首に見えます。

### 3. カキラン

*Epipactis thunbergii* A. Gray ラン科

黄褐色の花を10個ほどつけ、下から咲いてきます。3枚の萼片の内側にある2枚の側花弁と呼ばれる部分が「柿色」で目立つため、この名前が付いたようです。



### 4. ノハナショウブ

*Iris ensata* Thunb. var. *spontanea* (Makino)  
Nakai ex Makino et Nemoto アヤメ科

園芸品種であるハナショウブの原種にあたります。十数センチほどの大きさで濃紫色の美しい花をつけます。花の中央基部に黄色の斑紋がはいるのが特徴的です。湿地園でみられる花の中ではひととき存在感があります。

いとうけいすけ  
**伊藤圭介資料がシンガポール植物園へ渡りました**

伊藤圭介は、江戸末期から明治初めにかけて日本を代表する植物学者であり、リンネの分類体系を日本で紹介した、我が国第一号の理学博士です。名古屋出身の偉人であることから、東山植物園では直筆の日記や、図譜など名古屋市指定有形文化財に指定されている資料等を多数所蔵しています。この度160年以上の歴史を持ち、世界遺産にも登録されたシンガポール植物園が開催する展覧会に、東山植物園の所蔵する伊藤圭介の資料を始め11点の資料を貸し出しました。

名古屋の偉人「伊藤圭介」の資料が海を越えて世界中の人に見てもらえることは、名古屋の植物園としてうれしい限りです。これを機により多くの人に伊藤圭介について知ってもらえることを願っています。

《展示概要》

展示タイトル：「Flower Obsession: Plant Collecting in East Asia, 1600s-1900s」

「フラワーオブセッション:東アジアの植物コレクション、1600年代～1900年代」

場 所：シンガポール植物園のボタニカルアートギャラリー

期 間：2022年4月23日～10月23日

内 容：江戸時代の日本の伝統的な園芸と植物学の発展をテーマとして展示されており、伊藤圭介が描いた「錦窠植物図説十七山茶科 山茶譜」(図譜)等の資料が展示されています。



展示室の様子



展示の様子



東山動植物園から貸し出し資料  
(錦窠植物図説十七山茶科 山茶譜)



東山動植物園から貸し出し資料  
(植物図説雑纂四)

動物たちをそつとささえる  
名古屋銀行

# 「東山動植物園応援 定期預金」

名古屋銀行では、「いのちつなぐパートナー」として  
毎年、動物たちのえさ代等にお役立ていただく寄付を実施しています  
※お客さまのご負担はございません

抽選で当たります！

**対象** 個人のお客さま **対象預金** スーパー定期 1年 10万円以上～900万円以下 **金利** お預入れ時の店頭呈示金利

春と秋の年2回開催予定

笑顔つながるハコドメイドグッズ

**A賞** 名古屋銀行オリジナルツアー  
10グループ (1グループ最大5名さま)

**B賞** ほんめいのオリジナルグッズ  
80名さま

< 応募・抽選・当選発表について >

- 東山動植物園応援定期預金に10万円以上の残高があるお客さま全員を抽選対象とし、自動エントリーいたします。
- 賞品は選べません。●毎年8月15日、2月15日を基準日とし、名古屋銀行にて厳正に抽選を実施いたします。基準日が銀行休業日の場合は、翌営業日となります。●オリジナルツアーの詳細は、ご当選者さまにお知らせいたします。
- プレゼントの発送をもって当選発表と代えさせていただきます。(毎年9月、3月頃) ●A・B賞は、予告なく変更・中止する場合があります。●基準日に、東山動植物園応援定期預金を解約している場合は対象となりません。

詳しくは窓口または  
カスタマーセンターへ ☎ 0120-758-001  
受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:00 (銀行休業日を除きます)

名古屋銀行 動物園定期 検索

ご来店の際は、検温・手指消毒・マスクの着用にご協力ください。



最新情報はこちら

※デザイン / ほんめいのこ

名古屋銀行は東山動植物園を応援しています



Café  
North Garden  
カフェ ノース ガーデン



●ウサギソフト  
¥380(税込)  
(¥387)(税込)



●コアラソフト  
各¥380(税込)  
(各¥387)(税込)



●コアラカレー  
¥800(税込)  
(¥815)(税込)

東山動植物園

北園

※( )内はイトイン価格です。

shop  
North Garden  
ショップ ノース ガーデン



●レッサーパンダぬいぐるみ  
L ¥4,400(税込)  
S ¥1,840(税込)



●生息地  
トートバッグ  
各¥1,100(税込)



●ミニタオル  
¥440(税込)

ひがしやま 60 号のクイズの答え

Q 和紙の原料で、明治時代以降には紙幣としても活用された黄色い花が咲く植物は？



- ① ヒュウガミズキ
- ② サンシュユ
- ③ ミツマタ

A 正解は  
③  
ミツマタ  
でした。

裏表紙/洋風庭園に咲く温帯スイレンとカエル 温帯スイレンは寒さに強く、春になると根茎の先端から芽を伸ばして、葉を広げます。洋風庭園スイレン池には他の品種もございますので、池に浮かぶ花をお楽しみください。(文/近藤 多希)

ひがしやま  
61号 2022 夏

発行所 / 公益財団法人 東山公園協会  
〒464-0803 名古屋市千種区田代町字瓶木1-62  
TEL 052-782-2111(内線340)

協力 / 名古屋市東山総合公園  
発行日 / 令和4年6月24日



Summer  
2022

洋風庭園に咲く温帯スイレンとカエル

H I G A S H I Y A M A

# ひがしやま 61

名古屋市東山動植物園情報誌